

JARI-RB 審査ニュース

第154号

[2010年1月15日]

財団法人 日本自動車研究所
審査登録センター (JARI-RB)

「謹賀新年」

新年明けましておめでとうございます。

リーマンショック以来の経済不況が続いており、企業の皆様には、懸命な経営努力をなされていることと推察いたしております。各国の施策が少しずつ奏功しつつあるようにも見えますが、私どもとしても、早急な景気回復を強く望んでいるところでございます。

このような時期ですので、様々な業務の見直しが行われていることと思っております。マネジメントシステムも、その有効性を高めるための改善が望まれると考えております。経営の施策と方向性を合わせることで、リスク低減をより一層進めること、管理の効率化を進めること、そして求心力を高めることなど求められることは多くあると思っております。皆様の改善活動と我々の審査が噛み合い、良い循環が育まれることを望んでおります。

さて、去年は、マネジメントシステムの規格認証制度の信頼性の確保、並びに有効性審査に関わる活動が業界を挙げて精力的に展開されました。JARI-RBでは、この動きを先取りし、システム改善、並びに審査員教育に取り組みました。取りあえずの対応はできましたが、いずれも大きな課題ですので、継続的な検討が必要であり、今年も引き続き改善活動を進めるつもりです。

今月は、交流セミナーを予定しております。二ヶ所だけの開催になり申し訳なく思っておりますが、最新の話題をお知らせしたいと思っております。皆様からも多くのご意見を頂戴し、課題や進むべき方向について共有できればと念じております。

今年は無年でございます。「寅」は春が来て草木が生ずる状態を表しているとのことですが、経済も寅の字のごとくに回復して欲しいものです。皆様のご繁栄を心よりお祈りいたします。

上級経営管理者
黒田哲平

初回登録(品質)

登録番号	登録日	登録者名	登録範囲
JAQR0177	2009. 12. 22	日本エマルジョン株式会社	化粧品、一般工業用界面活性剤、油剤の開発、設計、製造及び販売(化粧品、その他乳化処方コンサルティングを含む)

更新登録(環境)

登録番号	更新日	登録者名	登録範囲
JAER0013	2009. 12. 18	トヨタ自動車株式会社 田原工場	自動車及びその部品の製造
JAER0015	2009. 12. 2	日産自動車株式会社 栃木工場	乗用車の生産活動全般
JAER0017	2009. 12. 26	日産車体株式会社	自動車の製造
JAER0202	2009. 12. 2	日産車体マニュファクチャリング 株式会社	自動車用金属製品部品及び樹脂成形部品の製造
JAER0203	2009. 12. 2	丸高株式会社 豊田工場	シート等の自動車内装部品の製造
JAER0205	2009. 12. 2	スズキ株式会社 豊川工場	二輪自動車, 船外機の製造
JAER0206	2009. 12. 26	株式会社 デンソー 西尾製作所	冷暖房機器, ラジエータ, ガソリン及び ディーゼル用燃料噴射製品等の製造
JAER0209	2009. 12. 14	株式会社 小林製作所 狭山工場	ロッカーアームシャフト, フランジ及びギヤシャフト等の 自動車部品の製造
JAER0211	2009. 12. 14	長田電機工業株式会社 名古屋工場	医療用機械器具の製造
JAER0215	2009. 12. 23	株式会社佐賀鉄工所 大町工場	締結部品の製造
JAER0216	2009. 12. 23	株式会社佐賀鉄工所 佐賀工場	締結部品の製造
JAER0219	2009. 12. 23	デルタ工業株式会社	自動車用の内装部品及び機構部品及びそれらを応用した 製品の製造
JAER0527	2009. 12. 19	株式会社 豊和繊維九州製作所	自動車用内装部品の製造
JAER0528	2009. 12. 19	ネットトヨタ神奈川株式会社※	自動車及び部品の販売及び整備 野比店, 大和鶴間店, U-Car淵野辺の拡大
JAER0530	2009. 12. 19	渡辺工業株式会社	自動車の燃料系, エンジン系及び駆動系等の パイプ加工品の製造

登録番号	更新日	登録者名	登録範囲
JAER0721	2009. 12. 1	アイパック株式会社	海外向け自動車用ノックダウン部品の入在庫管理及び包装、梱包業務
JAER0722	2009. 12. 8	株式会社吉澤運送	一般貨物、重機の運送及び引越し業
JAER0723	2009. 12. 15	アイシン・メタルテック株式会社	輸送用車両の駆動系・制動系等に使用される鍛造及び機械加工部品・組付け品の製造
JAER0724	2009. 12. 15	株式会社特車工業	特装車及び特装車用関連部品の製造
JAER0725	2009. 12. 22	秋田ナイルス株式会社	自動車用電装部品の製造

※ [更新登録] において拡大を含む(工場の追加及び店舗の拡大等のみ記載)

更新登録(品質)

登録番号	更新日	登録者名	登録範囲
JAQR0009	2009. 12. 2	日産車体マニュファクチャリング株式会社	自動車用金属製品部品及び樹脂成形部品の製造
JAQR0011	2009. 12. 5	丸星株式会社	製品技術情報の制作、印刷及び付帯サービス
JAQR0012	2009. 12. 5	株式会社サンレックス	ケースデファレンシャル、ハブフロントホイール、アームサスペンション及びベベルギヤピニオンの製造
JAQR0013	2009. 12. 5	名興発條株式会社	自動車を主とした、線ばね・薄板ばね・精密プレス部品及び、これらの複合品の製造
JAQR0065	2009. 12. 16	東京スリーブ株式会社	自動車用エンジン部品及び産業機械用部品の製造
JAQR0075	2009. 12. 26	株式会社 明治製作所	自動車、産業機械及び農業機械用鍛造部品の設計及び製造
JAQR0077	2009. 12. 26	三協グループ 小牧事業所	1.自動車用金属プレス部品及びサンルーフの製造 2.金属プレス用金型の設計・製造
JAQR0112	2009. 12. 26	株式会社MARUWA 直江津工場・春日山工場	EMC対策用電子部品の設計、製造及び付帯サービス
JAQR0137	2009. 12. 26	株式会社多田自動車商会	中古自動車部品の再生、販売

登録拡大(環境)

登録番号	発効日	登録者名	登録範囲
JAER0071	2009. 12. 25	株式会社ショーワ 御殿場工場	御殿場工場第1工場
JAER0306	2009. 12. 11	札幌トヨペット株式会社	岩見沢店
JAER0334	2009. 12. 18	豊生ブレーキ工業株式会社	土岐工場
JAER0412	2009. 12. 18	トヨタエルアンドエフ中部株式会社	PBエコセンター
JAER0753	2009. 12. 25	トヨタエルアンドエフ福岡株式会社	博多港営業所, 八幡営業所, 柳川営業所, 長崎営業所, 佐世保営業所
JAER0754	2009. 12. 18	株式会社デンソーウェーブ	阿久比事業所, 三河安城事業所

- ・登録拡大：工場及び店舗等の追加のみ掲載
- ・登録情報の詳細はJARI-RBホームページ（URL <http://www.jari-rb.jp/>）をご参照ください。

環境関連法規等の動き

(09/11/26～09/12/16)

法令情報

「水質汚濁に係る環境基準についての一部を改正する告示の件」

(2009. 11. 30環境省)

公布：2009. 11. 30, 施行期日：2009. 11. 30

公共用水域の水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準及び地下水の水質汚濁に係る環境基準の項目の追加及び基準値の変更について2件の告示がなされました。

- ①水質汚濁に係る環境基準についての一部を改正する件（環境省告示第七八号）
- ②地下水の水質汚濁に係る環境基準についての一部を改正する件（同第七九号）

【概要】

健康保護に係る水質環境基準及び地下水環境基準について、項目追加と基準値が見直しされました。

1)新たに追加する項目

	項目名	基準値
公共用水域	1, 4-ジオキサン	0.05mg/L以下
地下水	塩化ビニルモノマー	0.002mg/L以下
	1, 2-ジクロロエチレン *	0.04mg/L以下
	1, 4-ジオキサン	0.05mg/L以下

*注) シス-1, 2-ジクロロエチレンにかわり, 1, 2-ジクロロエチレン (シス体及びトランス体の和) を追加

2)基準を見直す項目

	項目名	新たな基準値	現行の基準値
公共用水域・地下水	1, 1-ジクロロエチレン	0.1mg/L以下	0.02mg/L以下

一般情報1. 平成20年度 大気汚染状況について（有害大気汚染物質モニタリング調査結果）2009.12.11（環境省）

有害大気汚染物質の平成20年度の調査結果が公表されました。調査は19物質（環境基準が設定されている4物質、指針値が設定されている7物質、その他の有害大気汚染物質8物質）を対象として行われています。

なお、測定地点は、処理基準に基づき一般環境、発生源周辺及び沿道の3種類に区分して設定されています。

【結果概要】

1) 環境基準が設定されている物質（4物質）

物質名	地点数	環境基準 超過地点数	年平均値	環境基準 (年平均値)
ベンゼン	451 [459]	1 [3]	1.4 [1.5] $\mu\text{g}/\text{m}^3$	3 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
トリクロロエチレン	399 [399]	0 [0]	0.65 [0.76] $\mu\text{g}/\text{m}^3$	200 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
テトラクロロエチレン	399 [395]	0 [0]	0.23 [0.25] $\mu\text{g}/\text{m}^3$	200 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
ジクロロメタン	397 [402]	0 [0]	2.3 [2.3] $\mu\text{g}/\text{m}^3$	150 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下

※ [] 内は平成19年度実績，（注）年平均値は，月1回，年12回以上の測定値の平均値を示す。ベンゼンは1地点（前年度：3地点）で環境基準を超過し，その他の3物質は全ての地点で環境基準を満足。

2) 環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針となる数値（指針値）が設定されている物質（7物質）

物質名	地点数	指針値 超過地点数	年平均値	指針値 (年平均値)
アクリロニトリル	370 [373]	1 [0]	0.093 [0.10] $\mu\text{g}/\text{m}^3$	2 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
塩化ビニルモノマー	378 [362]	0 [0]	0.053 [0.081] $\mu\text{g}/\text{m}^3$	10 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
クロロホルム	368 [370]	0 [0]	0.22 [0.21] $\mu\text{g}/\text{m}^3$	18 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
1,2-ジクロロエタン	377 [371]	1 [2]	0.16 [0.15] $\mu\text{g}/\text{m}^3$	1.6 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下
水銀及びその化合物	293 [308]	0 [0]	2.1 [2.2] ngHg/m^3	40 ngHg/m^3 以下
ニッケル化合物	302 [317]	1 [2]	4.9 [5.1] ngNi/m^3	25 ngNi/m^3 以下
1,3-ブタジエン	413 [415]	0 [0]	0.18 [0.19] $\mu\text{g}/\text{m}^3$	2.5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下

※ [] 内は平成19年度実績，（注）年平均値は，月1回，年12回以上の測定値の平均値を示す。

1,2-ジクロロエタンは1地点（前年度：2地点），ニッケル化合物は1地点（前年度：2地点），アクリロニトリルは1地点（前年度：0地点）で指針値を超過し，その他の4物質は全ての地点で指針値を満足。

3) 環境基準等が設定されていないその他の有害大気汚染物質（8物質）

19物質のうち8物質については，環境基準や指針値が設定されていないが，継続的に測定が行われている地点の濃度推移を経年的に見ると，ベンゾ[a]ピレン，ホルムアルデヒド，ベリリウム及びその化合物については低下傾向，アセトアルデヒド，ヒ素及びその化合物，マンガン及びその化合物，クロム及びその化合物についてはゆるやかな低下傾向，酸化エチレンについてはほぼ横ばいであった。

4) 環境省の今後の対応

PRTRデータ及び有害大気汚染物質モニタリング結果等により、排出量や大気環境濃度等を継続的に検証・評価し、地方公共団体及び関係団体等との連携のもと、有害大気汚染物質対策を推進していくこととしている。

2. 平成20年度 大気汚染状況について（一般環境大気測定局、自動車排出ガス測定局の測定結果報告）**(2009.12.11 環境省)**

平成20年度の測定結果が公表されました。都道府県及び大防法上の政令市において大気汚染の常時監視が行われています。

なお、平成20年度末現在の測定局数は、全国で1,987局であり、内訳は一般環境大気測定局（以下「一般局」いう。）が1,549局（国設局9局を含む。）、自動車排出ガス測定局（以下「自排局」という。）が438局（国設局10局を含む。）となっています。

【測定結果の概要】1) 二酸化窒素 (NO₂)

環境基準達成率は、一般局では近年ほとんどすべての測定局で環境基準を達成しており、平成18年度から3年連続で100%となった。自排局では95.5%で平成19年度（94.4%）と比較するとほぼ横ばいであった。自動車NO_x・PM法の対策地域については、一般局では18年度から3年連続で100%となり、自排局では92.0%で、平成19年度（90.6%）からほぼ横ばいであった。

なお、年平均値の推移については、一般局、自排局とも近年ゆるやかな改善傾向がみられる。

2) 浮遊粒子状物質 (SPM)

環境基準達成率は、一般局で99.6%、自排局で99.3%であり、平成19年度（一般局：89.5%、自排局：88.6%）と比較すると、一般局、自排局とも改善している。自動車NO_x・PM法の対策地域については、一般局で99.8%、自排局で99.5%であり、平成19年度（一般局：93.2%、自排局：92.5%）と比較すると、一般局、自排局とも改善している。

また、年平均値の推移については、一般局、自排局とも近年ゆるやかな改善傾向がみられる。

3) 光化学オキシダント (O_x)

環境基準達成率は、一般局で0.1%、自排局で0%であり、達成状況は依然として極めて低い水準となっている（平成19年度 一般局：0.1%、自排局：3.3%）。

また、光化学オキシダント注意報等の発令状況は、発令都道府県数が25都府県、発令延日数が144日であり、平成19年度（28都府県、220日）と比べて減少している。近年は発令地域が広域化する傾向にあり、長野県と佐賀県で観測史上初めて各1日の発令があったが、発令延日数としては最近5年間では最も少なくなっている。

（注意報発令状況等については、平成21年1月に公表済）

4) 二酸化硫黄 (SO₂)

環境基準達成率は、一般局で99.8%、自排局で100%であり、近年ほとんどすべての測定局で環境基準を達成している。

5) 一酸化炭素 (CO)

環境基準達成率は、一般局、自排局とも近年すべての測定局で環境基準を達成している。



発行所 財団法人 日本自動車研究所 審査登録センター
〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30日本自動車会館12階
TEL 03-5733-7934 (代表) FAX 03-5401-2834
ホームページアドレス <http://www.jari-rb.jp/>

発行責任者 上級経営管理者 黒田 哲平

（本審査ニュースに掲載された内容は、当センターの許可なく転載・複写することはできません。）

通巻 第154号 2010年1月15日
編集人 事業部 部長 須藤 英夫
印刷所 株式会社 高山
茨城県つくば市荊崎1887

送付先変更連絡アドレス rb-news@jari.or.jp